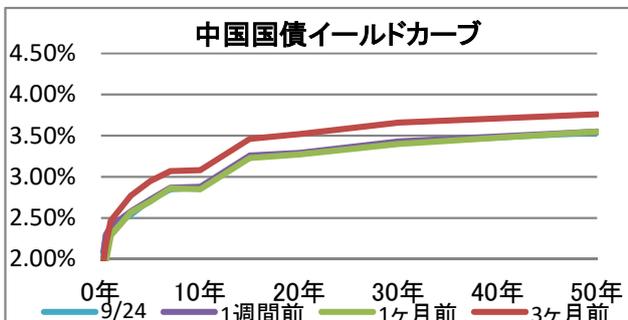
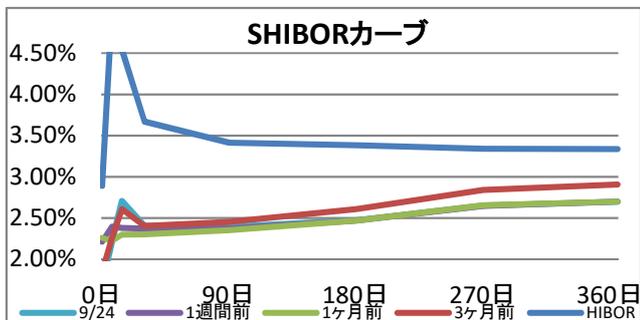


## ①市場概況

基準レート		2021/9/24	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4599	0.0072
	JPY/CNY	5.8569	-0.0226
SHIBOR	3M	2.3970%	+0.0250%
国債利回り	10年	2.87%	-0.01%
上海総合指数		3,613.07	-0.90



### (1) 概況

米FOMCで量的緩和早期縮小開始を検討する一方で、その後の利上げについては慎重に判断する姿勢を改めて示されたこと等から、債券市場が急落して債券利回りが上昇したものの、株式市場は上昇に転じている。

中国金融市場では、不動産大手の信用不安が払拭できない中で長期休暇を控えた月末（四半期末）が迫り、中国人民銀行の月末越える資金供給増により足下（月内）の資金需給は改善されたものの警戒感は依然強く、中秋節の連休で営業日数が少なかったこともあり、株式、債券ともに小幅な値動きに終始。

中国は、李克強首相が国務院常務会で財政政策と金融政策の連動や複数年対応による景気安定化実現を改めて強調している。また、中国人民銀行はSLF（常設貸出制度）の電子申請化により中小企業融資支援を強化し、24日に開始した債券通（南向き）は中国政府の香港の繁栄発展への決心を体現したもので、香港に中国と国外の市場の橋渡しの役割を期待すること等を強調し、暗号資産取引については通貨当局が発行したのではなく法的根拠がない等として全面的に禁止することを決めている。また、中国銀行保険監督管理委員会は、商業銀行評価法により銀行等への監督体制を整備している。

### (2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日900億元と中央国庫商業銀行定期預金期日700億元に対し、新規リバースオペ3,600億元を実施により差額2,000億元を供給している。

### (3) 主な経済指標

特になし。

## ②資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.6950%	1.6500%	1.8800%	
1W	2.2190%	2.2000%	2.3000%	1.8000%
2W	2.7090%	2.8000%	3.4000%	2.5500%
1M	2.4080%	3.5200%	2.9000%	2.6000%
3M	2.3970%	4.5000%		2.4500%
6M	2.4730%	3.0000%		2.6500%
9M	2.6500%	3.9000%		2.7150%
12M	2.7000%	3.8500%		2.7450%

不動産大手企業の信用不安や四半期末とその後の国慶節連休を控えて、中国人民銀行が積極的な資金供給を行なったことから足下の金利水準は低下に転じたものの、月末（四半期末）を越える期間の金利水準は高止まり。ターム物の出合いは引き続き1ヶ月（2.80%前後に上昇）を除き限定的。

NCDも、金利水準は上昇しているものの、長めの期間を中心に活発に取引されており、金利上昇は小幅に止まっている。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.55%、3ヶ月が2.43%、6ヶ月が2.63%、1年が2.73%を中心に取引されている。

### (2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	0.03%	0.04%
1W	0.04%	0.05%
1M	0.10%	0.12%
3M	0.23%	0.25%
6M	0.30%	0.35%
12M	0.40%	0.45%

資金需給に大きな変化はなく、ターム物は1ヶ月0.10%、3ヶ月0.20%前後で出合っている。

### ③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.03%	2.12%	2.46%	2.60%	2.91%
6M	2.29%	2.33%	2.68%	2.75%	3.06%
1Y	2.38%	2.43%	2.72%	2.81%	3.15%
3Y	2.54%	2.75%	3.00%	3.12%	3.95%
5Y	2.72%	3.00%	3.40%	3.47%	4.37%
10Y	2.87%	3.23%	3.65%	3.76%	4.67%

債券市場では、中国人民銀行が月末（四半期末）越えの資金供給を増額したことから買いしっかりで始まったものの、米FOMC後に米国債が下落すると中国債券も下落に転じて利回りが上昇しており、米中利回り格差縮小も売りを誘って弱含み（利回りは上昇）となっている。

イールドカーブは、四半期要因から短期の利率債に資金が集中し、信用債は短期を中心に売られて利回りが上昇したことから、信用債ではフラットニングが続き、信用債利回り上昇によるクレジットスプレッドの拡大が続いている。

### ④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	94.8 / 96.0
1M	170.0 / 171.5
3M	450.0 / 452.0
6M	913.7 / 916.0
9M	1318.3 / 1323.0
12M	1715.0 / 1717.0

対ドル基準レートは、6.4599週末比+72pipsのドル高元安、対円基準レートは5.8569の同-226pipsの円安元高と、米FOMC後のドル高を受けた設定となっている。国内市場では、中秋節明け直後はFOMCと中国不動産大手の信用不安拡大によるドル高を受けて4.47台で取引されていたが、中国不動産大手の利払い宣言により懸念が若干後退すると人民元が買い戻されて4.46台前半に戻している。

先物は、人民元資金需給の改善期待とドル金利上昇懸念から1年物が1700台前半まで縮小している。

### ⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.33%		2.13%
6M	2.32%	2.55%	2.12%
9M	2.32%	2.59%	2.13%
1Y	2.33%	2.63%	2.15%
3Y	2.49%	2.92%	2.33%
5Y	2.69%	3.15%	
7Y	2.83%	3.31%	
10Y	2.98%	3.47%	

債券利回りの低下によりスワップ金利も低下に転じたものの、小幅な値動きに終始。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは短期の基準金利動向（1週間は低下、3ヶ月は上昇）により区々となっている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。